※令和４年度以降入学生用

学校番号	102

令和８年度　学　国際文化科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
学 国際文化	（学）イタリア語文化Ⅰ	2	2	白水社　Un piatto d'italiano ベレ出版　しっかり学ぶ イタリア語

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

イタリア語文化Ⅰは、まずは「聞くこと」「話すこと」を中心にイタリア語独特の発音、アクセント、イントネーションに慣れ、次に「読むこと」「書くこと」を加えて、基本的なイタリア語の習得を目指します。
1学期では、まず、挨拶、簡単な自己紹介・家族紹介、バールでのやりとりができるようにします。バールでのやりとりを通して、男性名詞・女性名詞、それらの複数形やそれに伴う冠詞を学びます。自己紹介・家族紹介を通して essere の人称変化を身につけます。
２学期では、avere と are 動詞を学び、日常の行動を表現できるようにします。また、暗唱大会を通して、イタリア語の特徴であり、日本人にとって最も難しいと思われる発音「巻き舌」に挑戦します。
３学期では、ere 動詞を学び、さらに日常の行動を表現する幅を広げます。
毎回の授業で、発音練習や例題文を繰り返し練習することで、イタリア語の発音・アクセント・イントネーション・語順を身に着け、学習したことが定着するよう取り組みます。

２ 学習の到達目標

【第２学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと （やり取り）	話すこと （発表）	書くこと
学習到達目標	・発音・アクセント・イントネーションなどイタリア語の音声的な特徴に注意しながら聞くことができる。 ・挨拶、簡単な自己紹介・家族紹介、バールでのやりとり、日常生活での行動を聞いて、必要な情報を聞き取ることができる。	・イタリア語の発音・アクセント・イントネーションを理解して読むことができる。 ・挨拶、簡単な自己紹介・家族紹介、バールでのやりとり、日常生活での行動を読んで理解できる。	・発音・アクセント・イントネーションなどのイタリア語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら話すことができる。 ・簡単な自己紹介や家族紹介をしあったり、バールでのやりとりをすることができる。 ・日常の簡単な行動について会話できる。	・発音・アクセント・イントネーションなどのイタリア語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら話すことができる。 ・簡単な語句や文を使って自己紹介や家族紹介、日常生活の行動について話すことができる。	・聞いたり読んだりしたことを書くことができる

※令和４年度以降入学生用

３ 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	外国語の４技能において、簡単な自己紹介・家族紹介、バールでのやりとり、日常生活での行動を表現するのに必要な単語や例文を習得している。	実際のコミュニケーションにおいて、主語が男性・女性・複数と変化しても、学んだ単語や文を応用することができている。	イタリア語という新しい言語における特徴をつかみ、コミュニケーションに必要な単語や文法を習得しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４ 学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1	Unitá1 名詞と形容詞 第３課 あいさつ 第４課 名詞 第５課 不定冠詞 第６課 定冠詞 第７課 形容詞	聞くこと	a: イタリア語の音声の特徴を理解している。 身近な話題（簡単な自己紹介、バールでのやり取り）についての会話を聞いて、基本的な単語を聞き取っている。 b: 身近な話題（簡単な自己紹介、バールでのやり取り）についての会話を聞いて、必要な情報を聞き取っている。 c: 身近な話題（簡単な自己紹介、バールでのやり取り）についての会話を聞いて、必要な情報を聞こうとしている。	授業観察
		読むこと	a イタリア語の発音・アクセント・イントネーションで読むことができる。 b: 身近な話題（簡単な自己紹介、バールでのやり取り）に関するイタリア語で書かれた文章を読み、要点をとらえることができる。 c: 身近な話題（簡単な自己紹介、バールでのやり取り）に関するイタリア語で書かれた文章を読み、要点をとらえようとしている。	授業観察
		話すこと （やり取り）	a: 簡単な自己紹介やバールでのやり取りに必要な単語や決まりを覚えている。 b: 実際に簡単な自己紹介のやり取り、バールでのやり取りをしている。 c: 実際に簡単な自己紹介のやり取り、バールでのやり取りをしようとしている。	授業観察
		書くこと	a: イタリア語のつづりを理解している。簡単な自己紹介やバールでのやり取りに必要な語彙を書くことができる。 b: 学んだ自己紹介やバールでのやり取りについて書けている。 c: 学んだ自己紹介やバールでのやり取りについて書こうとしている。	小テスト
	中間考査は実施しない			
	Unitá2 essere questo 第８課 essere	聞くこと	a: 数詞を聞き取れる。essere の人称変化を聞いて、主語が理解できる。家族紹介に必要な基本的な単語を聞き取ることができる。 b: essere の人称変化および男性名詞・女性名詞・単数複数の変化、それに伴う冠詞を聞き取り理解している。 c: essere の人称変化および男性名詞・女性名詞・単数複数の変化、それに伴う冠詞を聞き取り理解しようとしている。	授業観察
		読むこと	a: 数詞、essere の人称変化を読むことができる。 b: 家族紹介の文章を読んで、理解している。 c: 家族紹介の文章を読んで、理解しようとしている。	定期考査
		話すこと （やり取り）	a: essere の人称変化を覚えている。家族紹介に必要な語彙を覚えている。 b: 実際に自分の家族紹介ができている。 c: 実際に自分の家族紹介をしようとしている。	授業観察
		書くこと	a: essere の人称変化を書ける。１～１０まで書ける。家族紹介に必要な単語が書ける。 b: 実際の自分の家族紹介を書いている。 c: 実際の自分の家族紹介を書こうとしている。	定期考査

※令和４年度以降入学生用

	期末考査			
2	Unitá2 avere 第 9 課 avere	聞くこと	a: avere の人称変化および avere を使った慣用表現を聞き、基本的な語句を理解している。 b: avere の人称変化を聞き主語を理解している。avere を使った慣用表現を聞いて内容を理解している。 c: avere の人称変化を聞き主語を理解しようとしている。avere を使った慣用表現を聞いて内容を理解しようとしている。	授業観察
		読むこと	a: avere の人称変化を読むことができる。avere を使った慣用表現を読むことができる。 b: avere の人称変化を読み、内容を理解している。avere を使った慣用表現を読み理解している。 c: avere の人称変化を読み、内容を理解しようとしている。avere を使った慣用表現を読み理解しようとしている。	定期考査
		話すこと （やり取り）	a: avere の人称変化を覚えている。avere を使った慣用表現を覚えている。 b: avere の人称変化と avere を使った慣用表現を、主語に合わせて話している。 c: avere の人称変化と avere を使った慣用表現を、主語に合わせて話そうとしている。	授業観察
		書くこと	a: avere の人称変化を書くことができる。avere を使った慣用表現を書くことができる。 b: avere の人称変化と avere を使った慣用表現を、主語に合わせて書いている。 c: avere の人称変化と avere を使った慣用表現を、主語に合わせて書こうとしている。	定期考査
	中間考査			
	Unitá3 are 動詞 Unitá 4 時間の表現 第 13 課 are 動詞 暗唱大会	聞くこと	a: are 動詞の人称変化を聞き取ることができる。are 動詞に伴う語彙を聞き取ることができる。暗唱大会の課題を聞き、イタリア語の特徴を感じることができる。 b: are 動詞の人称変化、およびそれに伴う語彙を聞き取り、内容を理解している。暗唱大会の課題を聞き、内容を理解している。 c: are 動詞の人称変化、およびそれに伴う語彙を聞き取り、内容を理解しようとしている。暗唱大会の課題を聞き、内容を理解しようとしている。	授業観察 暗唱大会
		読むこと	a: are 動詞の人称変化を読むことができる。are 動詞に伴う語彙を読むことができる。暗唱大会の課題を読むことができる。 b: are 動詞の人称変化、およびそれに伴う語彙を読み、内容を理解している。暗唱大会の課題をイタリア語の特徴を出して読み、内容を理解している。 c: are 動詞の人称変化、およびそれに伴う語彙を読み、理解しようとしている。暗唱大会の課題をイタリア語の特徴を出して読もうとしている。また、その内容を理解しようとしている。	定期考査
		話すこと （発表）	a: are 動詞の人称変化を覚えている。are 動詞に伴う語彙を覚えている。暗唱大会の課題を覚えている。 b: are 動詞の人称変化、およびそれに伴う語彙を使い、日常生活の行動を表現している。暗唱大会の課題の内容を理解して、イタリア語の特徴を出して発表している。 c: are 動詞の人称変化、およびそれに伴う語彙を使い、日常生活の行動を表現しようとしている。暗唱大会の課題の内容を理解して、イタリア語の特徴を出して発表しようとしている。	暗唱大会 授業観察
		書くこと	a: are 動詞の人称変化を書くことができる。are 動詞に伴う語彙を書くことができる。暗唱大会の課題の中の簡単な単語が書ける。 b: are 動詞の人称変化、およびそれに伴う語彙を使い、日常生活の行動を書いている。暗唱大会の課題の内容を理解して、簡単な単語が書ける。 c: are 動詞の人称変化、およびそれに伴う語彙を使い、日常生活の行動を書こうとしている。暗唱大会の課題の内容を理解して、簡単な単語を書こうとしている。	定期考査
	期末考査			
3	Unità4 ere 動詞 第 14 課	聞くこと	a: ere 動詞の人称変化を聞き取ることができる。ere 動詞に伴う語彙を聞き取ることができる。 b: ere 動詞の人称変化、およびそれに伴う語彙を聞き取り、内容を理解している。	授業観察

※令和４年度以降入学生用

	Ere 動詞		c: ere 動詞の人称変化、およびそれに伴う語彙を聞き取り、内容を理解しようとしている。	
		読むこと	a: ere 動詞の人称変化を読むことができる。ere 動詞に伴う語彙を読むことができる。 b: ere 動詞の人称変化、およびそれに伴う語彙を読み、内容を理解している。 c: ere 動詞の人称変化、およびそれに伴う語彙を読み、理解しようとしている。	定期考査
		話すこと （やり取り）	a: ere 動詞の人称変化を覚えている。ere 動詞に伴う語彙を覚えている。 b: ere 動詞の人称変化、およびそれに伴う語彙を使い、日常生活の行動を表現している。 c: ere 動詞の人称変化、およびそれに伴う語彙を使い、日常生活の行動を表現しようとしている。	授業観察
		書くこと	a: ere 動詞の人称変化を書くことができる。ere 動詞に伴う語彙を書くことができる。 b: ere 動詞の人称変化、およびそれに伴う語彙を使い、日常生活の行動を書いている。 c: ere 動詞の人称変化、およびそれに伴う語彙を使い、日常生活の行動を書こうとしている。	定期考査
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度